

未来社会検討の進め方(案)

MRI 三菱総合研究所

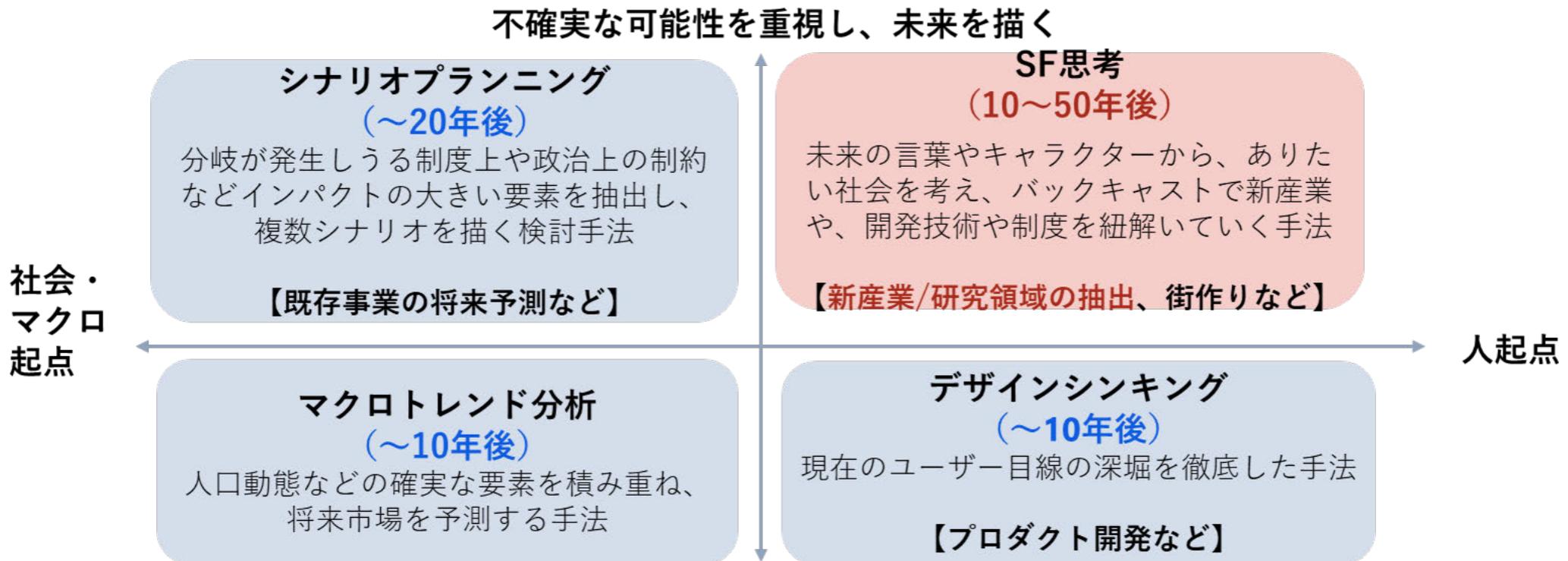
2026年3月

三菱総合研究所 未来共創グループ グループリーダー / 横浜市立大学研究・産学連携推進センター 特任教授 藤本 敦也

SF思考を活用した未来ストーリー

非連続で挑戦的、かつリアリティのある未来を描く新たな思考法として開発

- SF作家の思考方法を活用し挑戦的でリアリティーある未来社会像を描く
- 単純な未来予想ではなく、**未来を考えるきっかけとしてSF小説を作成する**



■ 出所：三菱総合研究所作成

SFプロトタイピング的視点を用いて、、

- 2050年のデジタル・人・社会の未来像/人とデジタルの関係を考える！

検討の前提と目的

1. 2050年頃までを念頭においた技術、人間、社会の未来像を、ネガティブ面も含め解像度高く描く

(※ 現状の価値観は、意外とすぐ変わる
例: 無人レジ、AI恋愛相談、マッチングアプリ……)

2. 上記を踏まえ2050年の人間と技術のあるべき関係性について「**人起点**」で考える

(※ 人起点なので、未来のキャラクターなどを活用)

2050の未来像を考える観点

デジタル技術の進展(①、②)をベースに③～⑦を検討し複合的な未来社会を描く

領域	具体的な観点
技術(T)	<p>【①技術マップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2050年に社会実装されているデジタル技術(蓋然性×インパクトの軸で整理) ・バックキャストして、2040年、2030年に実装されているデジタル技術(簡易ロードマップ) <p>【②日本が強い領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外が強い領域/日本が強い領域
ビジネス(E) ※ 国内市場中心	<p>【③デジタル技術進展がもたらす新活用方法(新サービス等:コンシューマー向け/企業向け)】</p> <p>【④新活用方法がもたらす、日常生活・ライフスタイル・価値観の変化】 ※重点的に実施</p>
社会(S) ※ 産業別のレベル	<p>【⑤産業の変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術進展がもたらす新しい産業 ・デジタル技術進展がもたらす既存産業への影響(ポジティブな影響、ネガティブな影響) <p>【⑥社会課題の変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術進展により、解決した社会課題 ・デジタル技術進展により、新たに出てきた社会課題(トラブル、犯罪、弱者)
法律・規制(P)	<p>【⑦変化が必要な法律・規制】 ※ワークショップでの検討範囲外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の法律・規制だと対応できないトラブル・犯罪/対応するための新たな法律・規制

第4回(ワークショップ)はここを中心に議論

第四回:2050ワークショップの概要(案)

- ワークショップメンバー
 - ・研究会メンバーから構成
 - ・1チーム5名程度(2チーム想定):オンライン・オフライン併用
- アジェンダ(合計3時間程度)
 - ①事務局からのインプット:20分程度
(第1回~3回の講演を技術・新サービス・人の変化、社会変化などに整理)
 - ②ワークショップ:2時間半(詳細後述:途中でAI活用なども可)
 - ③チーム間共有:10分

※ ワークショップでのアウトプットを踏まえ、第5回までに事務局がアウトプット案を改めて作成し、第5回の冒頭で説明して構成員にご確認いただく

第四回:2050ワークショップの詳細(案)

● インプット(デジタル技術ロードマップ等を念頭に下記のタスクを実施)

テーマ	具体的な問いかけ/タスク	時間
新活用方法(③)	タスク1:自身の専門の言葉と、事務局インプットを中心としたデジタル技術を掛け合わせ、新しい活用方法を考えて下さい	15分
	タスク2:新活用方法の具体を考えて下さい(例:概要、提供価値、受益者) (第1回～第3回で出た有望活用イメージ(新ビジネス/サービス含む)もベースに検討)	15分
	タスク3:新活用方法を成立させる技術/派生ビジネスを考える(実現可能性も検討)	15分
産業の変化(⑤) 【AI活用】	タスク4:デジタル技術進展がもたらす 新しい産業	10分
	タスク5:デジタル技術進展がもたらす既存産業への影響(ポジティブ/ネガティブ)	10分
日常変化(④)	タスク6:未来のキャラクターを作成(多様なキャラクターを作成)	10分
	タスク7:未来のキャラクターに、日常をつぶやかせる(昔と変わったな/価値観変化)	15分
	タスク8:未来のキャラクターに、なぜそんな生活や新ビジネスが浸透したかを取材	15分
	タスク9:未来の何が変わったのか?代表的な数字を考えてみる(〇〇率が△△%へ)	10分
	タスク10:未来の社会にタイトルをつけてみよう(〇〇社会)	10分
社会課題変化 (⑥)【AI活用】	タスク11:デジタル技術進展により、 解決した社会課題 タスク12:デジタル技術進展により、 新たに出てきた社会課題(トラブル、犯罪、弱者)	20分

【参考】スライド例：タスク2「新活用方法の詳細」

新活用方法の詳細を考えて下さい(例：概要、ターゲット属性、提供価値) **15分**

新しい言葉 (新サービス/ビジネス)	そのサービスはどのようなもの(ライフスタイル、ビジネス、製品など)でしょうか？	その製品・ビジネスの利点(価値)・問題点はなんですか？	その製品・ビジネスを使う主なお客様、またそれによる受益者は誰でしょうか？(属性、業種など)
例)フラシーボ・エージェント	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオセンサや会話ログより、落ち込みそうなときに、とにかくほめてくれるAIエージェント ・自己肯定感が常時安定する(落ち込み予防) ・難しいことができた時だけでなく、日常(朝起きた、遅刻しなかった、朝ごはん食べれたなど)も先回りして褒めてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち込むタイミングを予測することにより、落ち込まない状況を早め早めに演出 ・ケアラーのケアにも活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションにより、自己肯定感が下がりやすい(敏感)にもかかわらず、クライアント接点をもつ仕事についている人(SNSのネガティブチェック担当者、一部の心理カウンセラーなど)

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所